平成 23 年８月 29 日

各　位

会 社 名　株 式 会 社 タ カ ラ レ ー ベ ン
代表者名　代表取締役社長　村山　義男
（コード番号　8897　東証第一部）
問合せ先 執行役員経営企画室長 北川 智哉
（TEL 03－5324－8720）

日本初*1【戸別蓄電付き売電可能太陽光システム】*2の完成・導入のお知らせ

従来より、戸別太陽光発電システムに加え、災害時などの電力確保のために蓄電機能を備えたシステムの企画開発を行ってまいりましたが、この度、**「戸別蓄電付き売電可能太陽光システム」**が完成致しましたのでお知らせします。

当システムの特徴の一つとして、蓄電池からの電力使用を「非常時」に限定される仕組みと致しました。通常時と切り離すことにより、夜間の安い電力を蓄電し、昼間にそれを売電すると利益が出てしまうという問題を解決したことで、売電と蓄電の両立が可能となりました。また、蓄電池側のシステムにより、停電を検知すると、蓄電池にため込んだ電力を使用するモードに自動的に切り替わるため、いくつかのコンセントをそのまま使用することが出来ます。さらに、災害時等には、太陽光発電システムのパワーコンディショナーを「自立運転モード」にすることで（ボタンひとつで切り替え可能）、分電盤を通さず、太陽光発電から蓄電池へ直接充電が可能となり、繰り返し電力の使用が出来ます。

当システム完成に伴い、現在販売中の**「レーベンリヴァーレ横濱鶴ヶ峰ヒルズ」**（神奈川県横浜市白根・総戸数 99 戸）を創業 40 周年記念プレミアム物件とし、第一号での導入を決定致しました。また、今後の物件にも順次導入していく予定です。

＊１　2011 年８月　タカラレーベン調べ

＊２　当システムは現在、実用新案登録出願中です。

≪戸別蓄電付き売電可能太陽光システムの主な特徴≫

１．売電と蓄電の両立が可能。

蓄電池からの電力使用を「非常時」に限定される仕組みとし、通常時と切り離すことにより、売電と蓄電の両立が可能となった。

２．停電時に自動で蓄電池からの電力供給に変化。

蓄電池側のシステムにより、停電を検知すると、蓄電池にため込んだ電力を使用するモードに自動的に切り替わる。（停電となると、分電盤も使用不可となり、通常の電力系統や太陽光発電からの蓄電システム側への電力供給はいずれも止まるため、これにより停電を検知する。）

３．太陽光発電による電力を蓄電し、使用する事が可能。

災害時等、蓄電池を長時間にわたり使用すれば電池は消耗していくが、太陽光発電システムのパワーコンディショナーを「自立運転モード」にすることで（ボタンひとつで切り替え可能）、分電盤を通さず、太陽光発電から蓄電池へ直接充電が可能となる。

以　上